

# 排出量取引システム（利用者目線から説明）

**目的**  
2030年度、日本のCO2排出量を2013年度比26%削減の目標を達成するため、一般家庭を含めたCO2排出量取引を支援するシステムの構築。

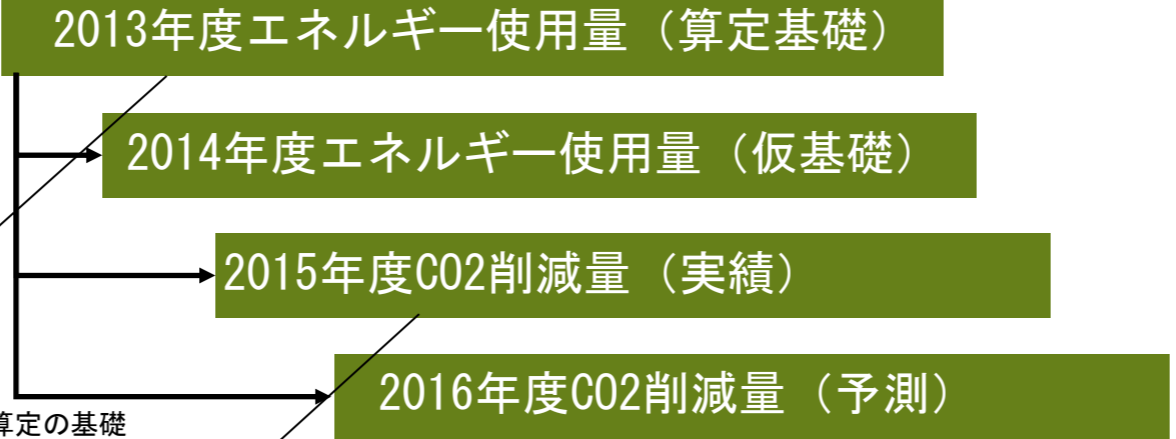
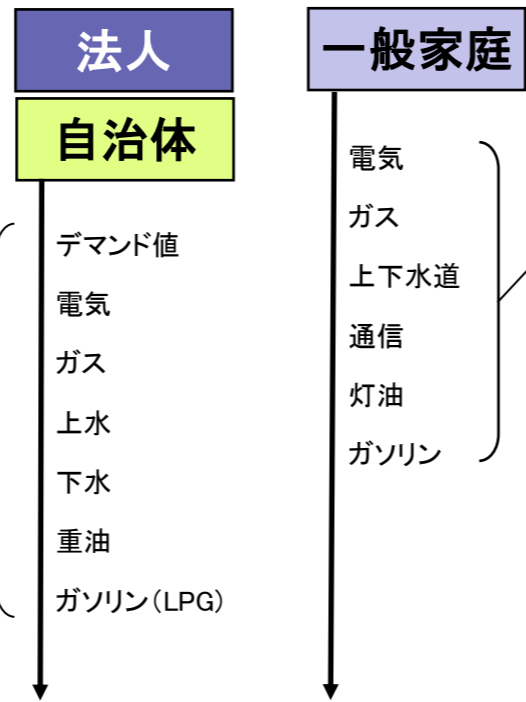
**法人・自治体・大学への実績**  
最大手ビル管理会社の省エネ実績をはじめ多くのノウハウを持ち、省エネの伝道者として有名な木暮氏(当社団代表理事)によるデマンド管理を中心とするCO2削減スキームは各所で大きな効果を得ている。

### 「建物まるごとナビ」



- ⇒ 電力・ガス・上下水道はセンサーが使用量を自動取得する
- ⇒ 電力の異常値発生時はアラートメールを担当者に送信

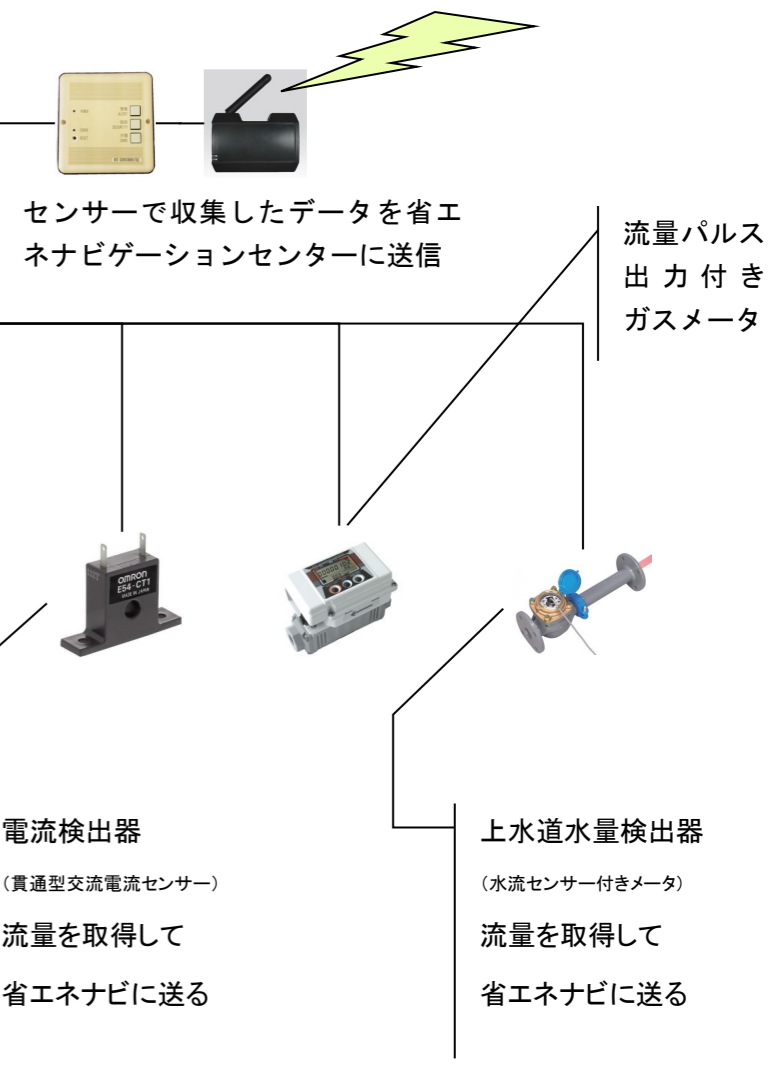
\* 建物まるごとナビとは  
BEMSの一種で、事業者・自治体向けに設計された電力・ガス・水道等のエネルギー使用量データの集計装置。データセンターで分析することで使用量・削減量の「見える化」と将来の削減見込を表示することができる。また、異常値が検出された場合は、指定されたメールアドレスにアラートメールを送信できる。



**算定の基礎**  
2013年度をCO2排出量の基礎とするために事業者も一般家庭も年度中のエネルギー使用量を登録する。登録された数値は第三者認証機関に所属する「省エネ診断士」が確認する。

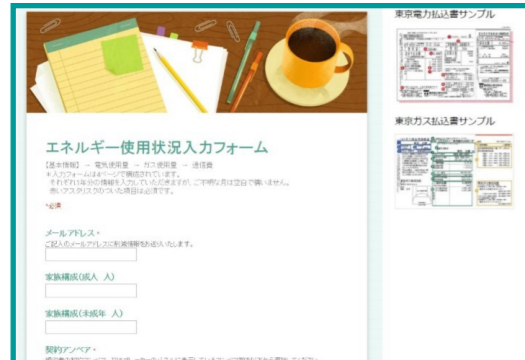
**削減実績**  
2013年度と比較したCO2削減量を算出し、CO2排出量取引が可能となる。

- 省エネナビ ⇒ データ送信
- センサー ⇒ 電気流量  
⇒ ガス流量  
⇒ 上水道流量

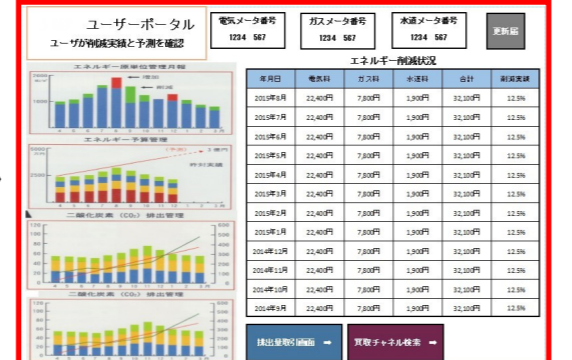


**センサーによる自動取得**  
一般家庭でも電気・ガス・水道の流量データを30分単位で取得することが可能になります。  
いつ、どこで、どのようなエネルギーを必要としているか、集積したビッグデータを活用してエネルギーの生産から管理することで社会全体で効率的に省エネができるようになります。

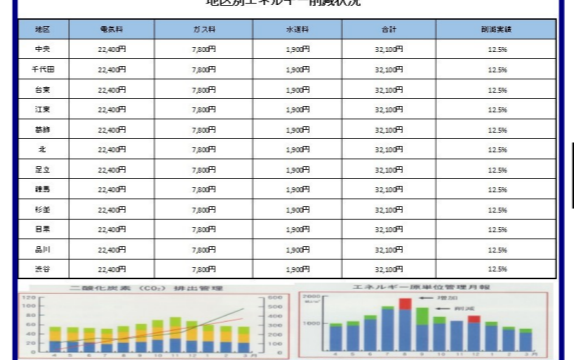
### 初期登録アンケート(一般家庭用)



### 削減実績確認画面(一般家庭用)



### 削減率地域順位画面(一般家庭用)



その他、多面的な角度から省エネ削減のアドバイスをする事で、一般家庭でも最適なCO2削減に取り組むことができます。エネルギー使用料の削減ばかりでなく、CO2排出量取引に参加することで省エネに対する興味も増加し、町ぐるみ・企業ぐるみの活動として活性化することが期待できます。